



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 株式会社 コメ兵ホールディングス（旧会社名 株式会社 コメ兵） 上場取引所 東 名
 コード番号 2780 URL https://www.komehyohds.com
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）石原 卓児
 問合せ先責任者 （役職名）経営企画本部経営企画部長 （氏名）鈴木 崇弘 TEL 052-249-5366
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無（当社ウェブサイトにて決算説明動画を掲載予定）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	20,819	△24.9	△956	—	△1,044	—	△1,379	—
2020年3月期第2四半期	27,728	18.9	317	△35.1	291	△41.5	185	△42.1

（注）包括利益 2021年3月期第2四半期 △1,400百万円（-％） 2020年3月期第2四半期 153百万円（△54.9％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△125.89	—
2020年3月期第2四半期	16.97	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	38,495	17,692	45.4	1,596.49
2020年3月期	35,611	19,189	53.3	1,731.43

（参考）自己資本 2021年3月期第2四半期 17,491百万円 2020年3月期 18,970百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	16.00	—	8.00	24.00
2021年3月期	—	8.00			
2021年3月期（予想）			—	8.00	16.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	△14.8	△670	—	△800	—	△1,210	—	△110.44

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(注) 当第2四半期連結累計期間においては特定子会社の異動には該当していませんが、2020年10月1日を効力発生日として吸収分割の方法で持株会社体制へ移行するため、2020年5月12日に株式会社コメ兵分割準備会社（2020年10月1日付で「株式会社コメ兵」に商号変更。）を新たに設立し、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	11,257,000株	2020年3月期	11,257,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	300,533株	2020年3月期	300,533株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	10,956,467株	2020年3月期2Q	10,956,467株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料等の入手方法)

四半期決算補足説明資料及び決算説明動画につきましては、当社ウェブサイトへの掲載を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(追加情報)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、世界的に感染が拡大する新型コロナウイルス感染症の影響により、商業施設等の営業休止や営業時間の短縮、インバウンド需要の急減、外出自粛による消費マインドの低下等により極めて厳しい状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループは、新型コロナウイルス感染症に対しては、お客様と従業員の安全を第一に考え、感染拡大の防止に向けた対応を強化するとともに、店舗の臨時休業や営業時間短縮を行いました。5月下旬から、感染状況の確認、安全衛生の徹底、在宅勤務、WEB会議の活用などの感染防止策を講じながら、お客様と従業員の安全の確保を前提とした営業を再開しておりますが、外出自粛による来店者数の減少による影響を受けました。

グループ会社の海外店舗の一部におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、営業時間短縮を行いました。

一方で、経費コントロールに努めるとともに、新生活様式に対応したオンラインストアの利用促進のためのECサイトのリニューアル、「安心できるいつもの場所での買取」をコンセプトとした商材確保のための買取イベントを積極的に行いました。また、法人販売の施策として、リアルオークションに代わりオンラインオークションを開催するなどの取り組みをいたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は20,819百万円(前年同四半期比24.9%減)、営業損失は956百万円(前年同四半期は317百万円の営業利益)、経常損失は1,044百万円(前年同四半期は291百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,379百万円(前年同四半期は185百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

なお、2020年10月1日付で持株会社体制へ移行するにあたり、2020年5月12日に当社の完全子会社として、株式会社コメ兵分割準備会社(2020年10月1日付で「株式会社コメ兵」に商号変更。)を設立いたしました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ブランド・ファッション事業

ブランド・ファッション事業は、国内では「KOMEHYO 新宿店」の移転計画に伴い「KOMEHYO SHINJUKU WOMEN」を出店し、また、個人買取強化のため、「KOMEHYO 買取センター武蔵小山」他4店舗を出店いたしました。海外では上海梅龍鎮伊勢丹に、期間限定で「KOMEHYO 米濱上海」を出店いたしました。

中古品仕入につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための店舗の臨時休業や営業時間短縮等の影響のある中、イベント買取中心に個人のお客様からの買取に強化に努めましたが減少いたしました。

販売につきましては、ECサイトのリニューアルに伴い、お問い合わせ機能の強化やお客様との関係性を深める施策による利用促進、法人向けオンラインオークションを開催するなど新生活様式に対応した取り組みを強化いたしました。が、厳しい状況となりました。

営業損益につきましては、売上高の減少の影響が、販売費、人件費等の経費コントロールの影響を上回ったことから、営業損失となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当セグメント売上高は19,296百万円(前年同四半期比26.2%減)、営業損失は870百万円(前年同四半期は451百万円の営業利益)となりました。

② タイヤ・ホイール事業

タイヤ・ホイール事業では、SNSによる自社開発の新作ホイールの紹介や「U-ICHIBAN」による中古タイヤ・ホイールの販売強化に努めましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための店舗の臨時休業や営業時間短縮等により減収となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当セグメント売上高は1,491百万円(前年同四半期比3.2%減)、営業損失は80百万円(前年同四半期は139百万円の営業損失)となりました。

③ その他の事業

当第2四半期連結会計期間末の主な不動産賃貸物件は4カ所であります。

当第2四半期連結累計期間の当セグメント売上高は36百万円(前年同四半期比23.7%減)、営業損失は5百万円(前年同四半期は5百万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は38,495百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,884百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金4,690百万円、建物及び構築物(純額)263百万円、並びに無形固定資産その他(ソフトウェア仮勘定他)482百万円の増加が、売掛金201百万円、たな卸資産1,783百万円及び流動資産その他(未収入金他)453百万円の減少を上回ったことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は20,803百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,381百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金2,389百万円及び長期借入金2,113百万円の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は17,692百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,497百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失1,379百万円及び剰余金の配当87百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は45.4%(前連結会計年度末は53.3%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ5,093百万円増加し、12,423百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、2,109百万円の資金収入となりました。(前年同四半期は1,332百万円の資金支出)

これは主に、減価償却費464百万円、売上債権の減少額200百万円、たな卸資産の減少額1,773百万円、未収入金の減少額924百万円及び未払消費税の増加額214百万円が、税金等調整前四半期純損失1,390百万円及び法人税等の支払額106百万円を超過したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、1,169百万円の資金支出となりました。(前年同四半期は273百万円の資金収入)

これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出1,107百万円及び差入保証金の差入による支出104百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、4,178百万円の資金収入となりました。(前年同四半期は1,213百万円の資金収入)

これは主に、短期借入金の純増額2,395百万円及び長期借入れによる収入2,600百万円が、長期借入金の返済による支出543百万円、リース債務の返済による支出151百万円及び配当金の支払額87百万円を超過したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期連結業績予想及び2021年3月期の配当予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が業績に与える影響に未確定要素が多く、合理的に算定することが困難であったため、公表を見送っておりましたが、現時点で入手可能な情報及び予測等に基づき業績予想を算定いたしましたので公表しております。

詳細につきましては、本日(2020年11月13日)公表いたしました「通期業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,440,381	11,130,926
売掛金	1,469,765	1,268,319
たな卸資産	14,905,903	13,122,605
その他	2,633,340	2,180,131
流動資産合計	25,449,390	27,701,982
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,623,780	3,887,521
土地	1,646,267	1,646,267
建設仮勘定	24,942	10,324
その他(純額)	794,997	823,716
有形固定資産合計	6,089,987	6,367,829
無形固定資産		
のれん	1,063,889	1,000,457
リース資産	444,257	313,403
その他	303,367	785,540
無形固定資産合計	1,811,514	2,099,401
投資その他の資産	2,260,306	2,326,744
固定資産合計	10,161,807	10,793,975
資産合計	35,611,198	38,495,957
負債の部		
流動負債		
買掛金	470,954	403,185
短期借入金	8,570,071	10,960,000
1年内償還予定の社債	72,000	72,000
1年内返済予定の長期借入金	991,444	933,904
リース債務	299,888	244,020
未払金	711,424	667,601
未払法人税等	145,097	61,342
賞与引当金	452,601	509,898
商品保証引当金	13,358	9,076
ポイント引当金	133,604	137,524
資産除去債務	—	35,298
その他	379,219	597,196
流動負債合計	12,239,664	14,631,048
固定負債		
社債	356,000	320,000
長期借入金	2,757,148	4,871,118
リース債務	172,258	82,588
役員退職慰労引当金	30,207	23,598
商品保証引当金	925	713
ポイント引当金	135,724	153,039
退職給付に係る負債	83,200	86,239
資産除去債務	546,537	532,874
その他	99,624	101,849
固定負債合計	4,181,625	6,172,021
負債合計	16,421,289	20,803,069

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,803,780	1,803,780
資本剰余金	1,909,872	1,909,872
利益剰余金	15,371,680	13,904,666
自己株式	△80,331	△80,331
株主資本合計	19,005,000	17,537,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,273	4,519
為替換算調整勘定	△37,873	△50,595
その他の包括利益累計額合計	△34,600	△46,076
非支配株主持分	219,509	200,976
純資産合計	19,189,909	17,692,887
負債純資産合計	35,611,198	38,495,957

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	27,728,364	20,819,013
売上原価	20,634,908	15,545,833
売上総利益	7,093,456	5,273,180
販売費及び一般管理費	6,775,531	6,229,690
営業利益又は営業損失(△)	317,924	△956,509
営業外収益		
受取利息	849	696
受取配当金	5,757	3,117
受取手数料	3,445	2,763
受取保険料	8,000	3,145
その他	3,725	13,797
営業外収益合計	21,777	23,520
営業外費用		
支払利息	13,810	25,375
為替差損	13,585	38,441
開店前店舗賃料	—	41,000
持分法による投資損失	18,116	1,167
その他	2,681	5,806
営業外費用合計	48,194	111,790
経常利益又は経常損失(△)	291,508	△1,044,780
特別利益		
固定資産売却益	3,291	1,460
負ののれん発生益	15,918	—
助成金収入	—	295,286
その他	—	7,100
特別利益合計	19,209	303,847
特別損失		
固定資産除却損	2,405	47,500
固定資産売却損	—	97
賃貸借契約解約損	—	32,100
減損損失	—	29,087
臨時休業による損失	—	※ 540,689
特別損失合計	2,405	649,476
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	308,313	△1,390,408
法人税等	134,111	△1,153
四半期純利益又は四半期純損失(△)	174,201	△1,389,255
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,745	△9,893
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	185,947	△1,379,361

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	174,201	△1,389,255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,350	1,246
為替換算調整勘定	△14,830	△19,040
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,055	6,318
その他の包括利益合計	△20,236	△11,476
四半期包括利益	153,965	△1,400,731
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	162,016	△1,382,199
非支配株主に係る四半期包括利益	△8,050	△18,532

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	308,313	△1,390,408
減価償却費	292,461	464,879
減損損失	—	29,087
のれん償却額	34,744	63,432
負ののれん発生益	△15,918	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	70,221	57,316
商品保証引当金の増減額(△は減少)	△2,409	△4,493
ポイント引当金の増減額(△は減少)	27,944	21,235
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△14,799	△5,108
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△6,608
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△216	—
受取利息及び受取配当金	△6,607	△3,814
支払利息	13,810	25,375
持分法による投資損益(△は益)	18,116	1,167
有形及び無形固定資産売却損益(△は益)	△3,291	△1,363
有形及び無形固定資産除却損	2,405	28,109
売上債権の増減額(△は増加)	△612,195	200,995
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,307,061	1,773,768
未収入金の増減額(△は増加)	△316,478	924,321
仕入債務の増減額(△は減少)	717,104	△61,904
未払消費税等の増減額(△は減少)	△5,996	214,236
未払金の増減額(△は減少)	△29,819	△45,364
その他	△130,827	△49,747
小計	△960,500	2,235,111
利息及び配当金の受取額	5,949	1,871
利息の支払額	△14,835	△26,104
法人税等の支払額	△369,172	△106,937
法人税等の還付額	6,429	5,696
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,332,130	2,109,637
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△41,001	△24,001
定期預金の払戻による収入	77,061	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△317,471	△1,107,758
有形及び無形固定資産の売却による収入	10,725	13,431
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△11,570	—
差入保証金の差入による支出	△26,719	△104,952
差入保証金の回収による収入	582,600	2,664
関係会社の清算による収入	—	51,778
貸付けによる支出	—	△33,026
貸付金の回収による収入	—	32,801
その他	△314	△318
投資活動によるキャッシュ・フロー	273,310	△1,169,381

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,780,000	2,395,984
長期借入れによる収入	100,000	2,600,000
長期借入金の返済による支出	△455,234	△543,072
リース債務の返済による支出	—	△151,648
社債の償還による支出	△36,000	△36,000
配当金の支払額	△175,391	△87,247
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,213,374	4,178,016
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24,753	△25,207
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	129,800	5,093,064
現金及び現金同等物の期首残高	6,086,244	7,330,752
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,216,044	12,423,816

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、当該法定実効税率を使用する方法により計算した金額を計上しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、2020年10月1日を効力発生日として吸収分割の方法で持株会社体制へ移行するため、2020年5月12日に株式会社コメ兵分割準備会社(2020年10月1日付で「株式会社コメ兵」に商号変更)を新たに設立し、連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が少なくとも一定期間続くとの仮定を、繰延税金資産の回収可能性の判断やのれんを含む固定資産の減損損失の判定に用いるなど、会計上の見積りを会計処理に反映しております。

なお、前連結会計年度の有価証券報告書(追加情報)に記載した仮定から重要な変更はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※臨時休業による損失

当第2四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症拡大を受けた緊急事態宣言の発出に伴う店舗の臨時休業等により発生した費用及び損失等540,689千円を臨時休業等による損失として特別損失に計上いたしました。その内容は、休業手当等にかかる人件費、店舗等休業期間中の減価償却費等であります。

(重要な後発事象)

(持株会社体制への移行に伴う会社分割)

当社は、2020年5月12日開催の取締役会において、当社の完全子会社である株式会社コメ兵割準備会社(2020年10月1日付で「株式会社コメ兵」に商号変更。以下「コメ兵分割準備会社」といいます。)との間で、当社を分割会社、コメ兵分割準備会社を承継会社とする吸収分割契約を締結することを決議し、契約を締結し、2020年6月25日開催の定時株主総会での承認を経て、2020年10月1日付で当社の事業を承継会社に承継いたしました。

これに伴い、当社は2020年10月1日付で「株式会社コメ兵ホールディングス」に商号変更し、持株会社体制へ移行いたしました。

1. 会社分割の概要

(1) 対象となった事業の内容

ブランド・ファッション事業

(2) 企業結合日

2020年10月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を分割会社、コメ兵分割準備会社を承継会社とする吸収分割

(4) 結合後企業の名称

分割会社：株式会社コメ兵ホールディングス

承継会社：株式会社コメ兵

(5) 会社分割の目的

当社グループは、グループ全体の経営効率化、ガバナンス体制の強化、経営人財の育成を進め、更なる企業価値の向上を図ることを目的として持株会社体制へ移行することといたしました。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております